

岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032



概要版

こころとからだで楽しむ
『スポーツシティぎふ』

令和5年3月

岐 阜 市

岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032 について

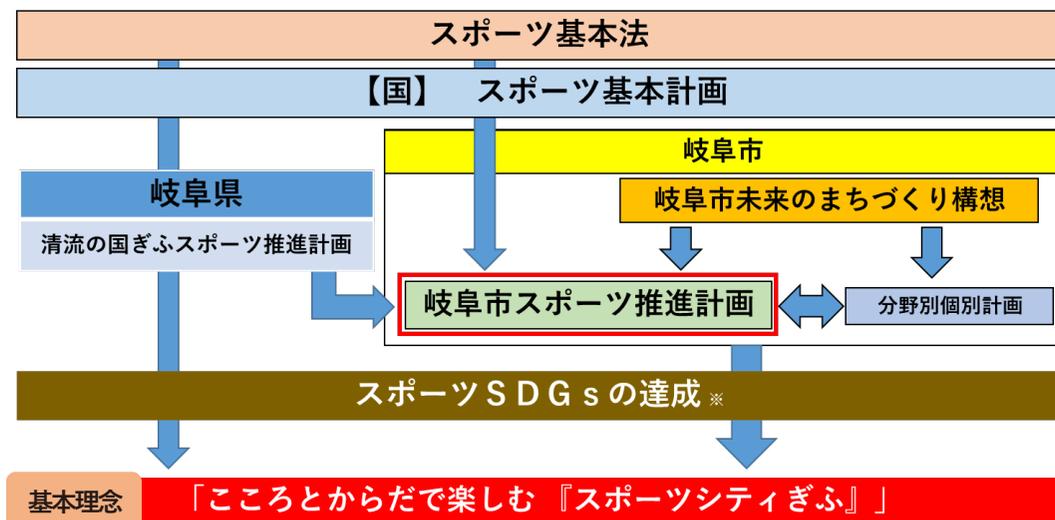
計画策定の趣旨

2013年度に策定した前計画が令和5年3月末で計画期間の満了を迎えることから、これまでの取り組みの総括や社会情勢の変化、多様化するライフスタイル等の状況を踏まえ、10年後のスポーツのあり方を見据えて、総合的な推進を図るための基本計画として、「岐阜市スポーツ推進計画 2023-2032」を策定しました。

計画の位置付け

本計画は国の「第3期スポーツ基本計画」を上位計画とするとともに、岐阜県の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」や本市の上位計画である「岐阜市未来のまちづくり構想」と方向性を合わせ策定しています。

【計画の位置付け（イメージ図）】



※スポーツSDGsとは、スポーツ庁がSDGsの達成にスポーツで貢献していくことを掲げ、スポーツの持つ力を使って、SDGsの認知度向上、ひいては、社会におけるスポーツの価値をさらに向上させるための取り組みです。

計画期間

本計画は、令和5年度（2023年度）から令和14年度（2032年度）までの10年間を計画期間とします。なお、本計画は施策の進捗状況、社会情勢、国の政策動向の変化等に応じて、中間年を目処に必要な見直しを実施する予定です。

| 年度（西暦） | | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 | |
|---------|-------------------|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| 上位・関連計画 | 【国】スポーツ基本計画 | 第3期スポーツ基本計画（2022～2026） | | | | | | | | | | | | |
| | 【県】清流の国ぎふスポーツ推進計画 | 第2期 清流の国ぎふスポーツ推進計画（2022～2026） | | | | | | | | | | | | |
| | 【市】岐阜市未来のまちづくり構想 | 岐阜市未来のまちづくり構想（2022～2040） | | | | | | | | | | | | |
| 本計画 | 岐阜市スポーツ推進計画 | 岐阜市スポーツ推進計画（2023～2032） | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 見直し | | | | | | | |

計画のコンセプト ～目指す姿～

基本理念

こころとからだで楽しむ『スポーツシティぎふ』

“スポーツを楽しむこと”がスポーツの価値の根源であることを認識した基本理念

前計画期間中では、新型コロナウイルス感染拡大によるスポーツ活動の制限や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会によるスポーツが人々に与えた感動が、人々のこころとからだを健康で豊かにするスポーツの持つ力とすばらしさを改めて認識することになりました。

基本理念として「こころとからだで楽しむ『スポーツシティぎふ』」を掲げ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を通して、「スポーツの持つ力」を最大限享受し、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という新たな視点も踏まえながら、心身ともに健康で生活の質を高め続けられる取り組みを推進していくことで、人と人とのつながり、絆を大切にし、誰もが心身ともに健康で心豊かな暮らしを育むことができる社会の実現を目指します。

成果目標

| 施策 | 成果目標 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------|--------------------------------|---------------|----------------|
| 基本方針（1）スポーツ参画の推進 | | | |
| 施策 1 | 週1回以上スポーツを行う成人の市民の割合 | 64.8% (R3) | 70.0% (R14) |
| 施策 2 | 週1回以上パラスポーツを行う成人の市民の割合 | — | 40.0% (R14) |
| 施策 3 | 適正体重（BMI18.5以上25.0未満）を維持する人の割合 | 73.0% (R1) | 85.0% (R7) |
| 基本方針（2）持続可能な競技力の向上 | | | |
| 施策 1 | 全国大会、国際大会の年間派遣選手 | 184人 (R3) | 500人 (R14) |
| 施策 2 | 『新しいスポーツ関連イベント』の年間実施回数 | — | 3回 (R14) |
| 施策 3 | オリンピック・パラリンピック出場選手の輩出（計画期間中） | — | 15人 (R14) |
| 基本方針（3）地方創生とまちづくり | | | |
| 施策 1 | FC岐阜・岐阜スүүプスのプロスポーツ年間平均観客動員数 | 4,847人 (R3) | 9,500人 (R14) |
| 施策 2 | 全国規模のスポーツイベントの年間実施回数 | 1回 (R3) | 3回 (R14) |
| 施策 3 | 地域資源を活かしたスポーツイベントの年間実施回数 | 0回 (R3) | 3回 (R14) |
| 基本方針（4）スポーツ環境の整備 | | | |
| 施策 1 | 屋内外スポーツ施設の年間利用者数 | 454,138人 (R3) | 940,000人 (R14) |
| 施策 2 | 各スポーツ団体のガバナンスコードのセルフチェック実施率 | — | 100% (R14) |
| 施策 3 | 広報活動によるスポーツ情報の周知率 | — | 100% (R14) |

※現状値が明らかでない部分については調査等を実施していきます。

本計画における「スポーツ」の定義

本計画では、健康増進や楽しむことを目的とした「ウォーキング（散歩）」などの運動は、スポーツに含まれますが、生活の上で、単に移動することを目的とした歩行は、本計画ではスポーツに含まれません。

ただし、スポーツは「する」だけでなく、「みる」「ささえる」という関わり方もあります。本計画では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを推進する施策を盛り込み、市民の心や身体、住んでいる地域の元気につなげていきます。

基本方針 (1) スポーツ参画の推進

子どもから高齢者までライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。

●主な取り組み

- 施策 1 生涯スポーツの推進 ⇒ライフステージ別施策の展開
- 施策 2 パラスポーツの推進 ⇒パラスポーツへの参画機会の創出
- 施策 3 健康増進の取り組み ⇒健康増進に関するエビデンスに基づくスポーツ活動

| 施策 | 成果目標 | 現状値 | 目標値 |
|------|----------------------------------|------------|-------------|
| 施策 1 | 週1回以上スポーツを行う成人の市民の割合 | 64.8% (R3) | 70.0% (R14) |
| 施策 2 | 週1回以上パラスポーツを行う成人の市民の割合 | — | 40.0% (R14) |
| 施策 3 | 適正体重 (BMI18.5以上25.0未満) を維持する人の割合 | 73.0% (R1) | 85.0% (R7) |

主な施策

1. ライフステージ別の取り組み

○成果目標は国の「第3期スポーツ基本計画」に基づいて70%とし、ライフステージ別に現状や課題を分析し、施策に取り組んでいきます。

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる
「生涯スポーツ社会の実現」

幼児

- 外遊びを中心に基礎運動を身につける

青少年

- 学校体育を通じた体力・仲間づくり
- スポーツへの興味・関心を高め、スポーツ習慣を形成

成人

- スポーツによる健康管理
- 多様なスポーツ活動の日常化
- 仲間との交流を通じたコミュニティの形成

高齢者

- スポーツによる自立と健康の保持増進
- 生きがいつくり

きっかけづくり・体力づくり

仲間づくり

健康づくり・生きがいつくり

2. パラスポーツの推進

○障がいの有無に関わらず「する・みる・ささえる」の視点からパラスポーツを推進します。

3. 健康増進の取り組み

○エビデンスに基づいた安全で効果的な健康増進活動を市民に分かりやすく広報し、普及啓発を図ります。

基本方針 (2) 持続可能な競技力の向上

優れた能力を持つアスリートを見出し、育成・強化する仕組みを構築します。

●主な取り組み

- 施策1 アスリート育成パスウェイの構築 ⇒ぎふ未来トップアスリート育成プロジェクト
- 施策2 新しいスポーツへの対応 ⇒アーバンスポーツ等の普及啓発
- 施策3 アスリートの支援体制強化 ⇒組織体制の強化とスポーツ競技力向上

| 施策 | 成果目標 | 現状値 | 目標値 |
|-----|-------------------------------|-----------|------------|
| 施策1 | 全国大会、国際大会の年間派遣選手 | 184人 (R3) | 500人 (R14) |
| 施策2 | 『新しいスポーツ関連イベント』の年間実施回数 | — | 3回 (R14) |
| 施策3 | オリンピック・パラリンピック出場選手の輩出 (計画期間中) | — | 15人 (R14) |

主な施策

1. アスリート育成パスウェイの構築

○「ぎふ未来トップアスリート育成プロジェクト」の構築による、スポーツ振興の好循環を目指します。

【普及】小中学生の普及期からスポーツを始めることができる施策を実施

【育成】中高生などの育成時期に大会派遣補助などの支援を実施

【強化】世界レベルのアスリートを目指すことができる有望選手を強化指定選手として認定

【還元】岐阜市ゆかりの選手から国際大会などに出場できる選手を輩出・支援

○東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催をきっかけに生まれたレガシーを市のスポーツ振興に活用することとし、オリンピック・パラリンピック等の国際大会に出場した選手自身の経験、スポーツの楽しさを次世代へ伝えてもらうことで、スポーツ参画への意識向上を図ります。

2. 新しいスポーツへの対応

○アーバンスポーツといった、従来のスポーツ・運動の枠組みに縛られない新感覚のアクティビティとして若者や子どもを中心に広がりを見せている新しいスポーツの普及啓発にも柔軟に対応します。

○近年、オリンピック種目として新たに採用されたスケートボードやBMXなど、競技スポーツとしてアーバンスポーツでオリンピック出場を目指す選手の支援も行っていきます。

3. アスリートの支援体制強化

○アスリートを支援する組織として「岐阜市スポーツ協会」を強化し、本市のスポーツ競技力の向上を図ります。

○岐阜市と連携し、次世代の選手育成に注力し、スポーツ大会への選手団の派遣や指導者講習会の実施など本市へのスポーツ振興の中核的役割も担っています。

基本方針 (3) 地方創生とまちづくり

プロスポーツ振興と地域独自のスポーツ振興により好循環を創出します。

●主な取り組み

- 施策 1 プロスポーツ振興 ⇒プロスポーツを活用した地域活性化
- 施策 2 スポーツイベントの実施 ⇒魅力あるイベントの拡充による地域活性化
- 施策 3 スポーツブランディングの拡充 ⇒地域資源を活かした取り組みの拡充

| 施策 | 成果目標 | 現状値 | 目標値 |
|------|------------------------------|-------------|--------------|
| 施策 1 | FC岐阜・岐阜スүүプスのプロスポーツ年間平均観客動員数 | 4,847人 (R3) | 9,500人 (R14) |
| 施策 2 | 全国規模のスポーツイベントの年間実施回数 | 1回 (R3) | 3回 (R14) |
| 施策 3 | 地域資源を活かしたスポーツイベントの年間実施回数 | 0回 (R3) | 3回 (R14) |

主な施策

1. プロスポーツ振興

- プロスポーツのホームタウンチームであるFC岐阜や岐阜スүүプスが行っている地域貢献活動を支援し、本市が誇るスポーツ資源を活かしたスポーツによる“まちづくり”を推進します。
- FC岐阜のホームタウンデー開催や岐阜スүүプスとの連携事業によりシビックプライドの醸成を図り、活力ある地域社会の形成を目指します。

2. スポーツイベントの実施

- 魅力的なスポーツイベントを実施することで、スポーツによる地域活性化とともに市民の運動機会の創出等を図ります。
- 若年層のスポーツ離れを防ぐため、アーバンスポーツ等の魅力的なイベントを計画します。
- 軽スポーツ・ニュースポーツを中心としたスポーツイベントを実施することにより、スポーツ・レクリエーションへの参画を促し、運動の機会を創出します。
- レクリエーションを普及啓発する団体と連携し、広くレクリエーション活動を周知します。
- 軽スポーツ・レクリエーション用具の貸し出しやレクリエーション指導者派遣等の有効活用により、レクリエーション活動への参画機会を創出します。

3. スポーツブランディングの拡充

- 魅力のある地域独自のスポーツイベントを実施することで、地域ブランドの確立を目指し、スポーツ参画の底上げを図ります。
- スポーツイベント等によるシティプロモーションを通じたアプローチなど、本市の観光資源を活かしたスポーツツーリズムを推進します。

基本方針（4） スポーツ環境の整備

誰もがスポーツを安心して楽しむことができる施設整備や環境づくりを目指します。

●主な取り組み

- 施策 1 スポーツ施設の整備 ⇒既存施設の市民ニーズに応じた施設整備と利便性の向上
- 施策 2 クリーンでフェアなスポーツの推進 ⇒安心してスポーツを楽しめる環境の整備
- 施策 3 DX 推進、SNS 等の広報活用 ⇒デジタル技術の有効活用と情報発信の拡充

| 施策 | 成果目標 | 現状値 | 目標値 |
|------|-----------------------------|---------------|----------------|
| 施策 1 | 屋内外スポーツ施設の年間利用者数 | 454,138人 (R3) | 940,000人 (R14) |
| 施策 2 | 各スポーツ団体のガバナンスコードのセルフチェック実施率 | — | 100% (R14) |
| 施策 3 | 広報活動によるスポーツ情報の周知率 | — | 100% (R14) |

主な施策

1. スポーツ施設の整備

- 老朽化対策としてスポーツ施設の長寿命化を図り、市民ニーズに応じた施設の管理・運営に努めます。
- ICTを活用したキャッシュレス決済の導入など利便性を高めることで、施設の利用を促します。
- 岐阜ファミリーパークは、総合スポーツ公園化に向けた検討が進められています。

2. クリーンでフェアなスポーツの推進

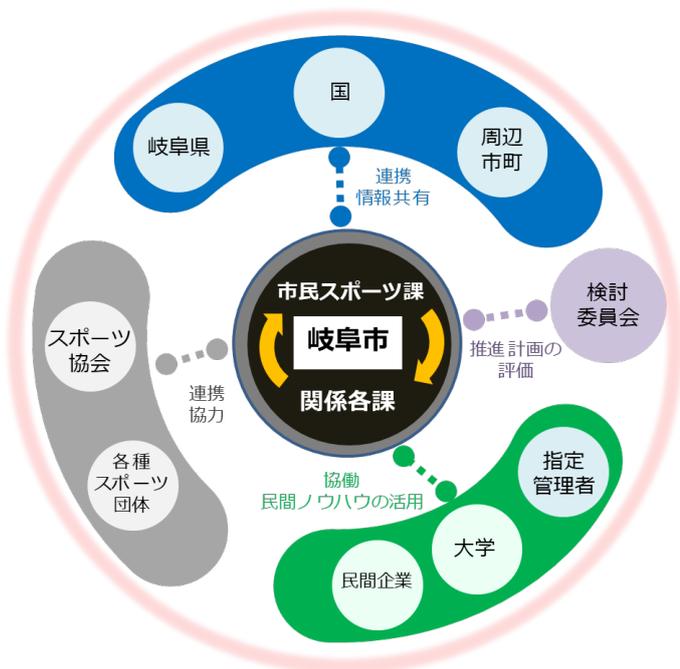
- スポーツの機会提供等の主要な担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化を図ることで、市民がスポーツに関わる機会の安定的な確保に資するスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことで、スポーツの価値を十分に享受できるよう進めます。
- ガバナンス・コンプライアンス研修等を通じてスポーツ団体の組織運営の透明化を図りつつ、スポーツ団体間の情報共有や外部人材の雇用創出等の支援により、健全な経営を行う組織体制の拡充を図ります。
- スポーツ関係者のコンプライアンス違反や体罰、暴力等の根絶を目指すとともに、スポーツ団体のガバナンスを強化します。

3. DX推進、SNS等の広報活用

- デジタル技術を活用した新たなスポーツの取り組みの推進やICT活用によるスポーツ環境の整備・拡充によりスポーツに親しむ機会を創出します。
- 新しいスポーツのあり方の検討やデジタル技術を活用したスポーツの取り組みを推進し、誰もがスポーツに親しむことのできる環境を整備します。

計画の推進に向けて

推進体制



(1) 岐阜市スポーツ推進計画の評価

この計画の推進にあたっては、各スポーツ関係団体との連携を密にし、基本方針ごとの進捗状況を把握するとともに、その成果と課題を岐阜市スポーツ推進計画検討委員会に提案し、委員から評価を受けながら、計画の具現化に向けて必要に応じた見直しを行うなど、本計画の進行管理に取り組んでいきます。

(2) 庁内関係所管との連携

スポーツを推進するためには、生涯学習部門、市民の健康づくりを受けもつ健康部門、高齢者・障がいがある人などを受けもつ福祉部門、青少年の健全育成や学校教育を受けもつ教育部門など、さまざまな部署との連携を図り、「岐阜市スポーツ推進計画」を実行してまいります。

(3) 国や県、周辺市町との連携

国や岐阜県との情報共有を図りながら、各種事業などの連携を図り、市民がさまざまなスポーツ活動を行いやすい環境づくりを目指します。また、周辺市町と連携し、大会やイベント等の情報交換などを推進します。

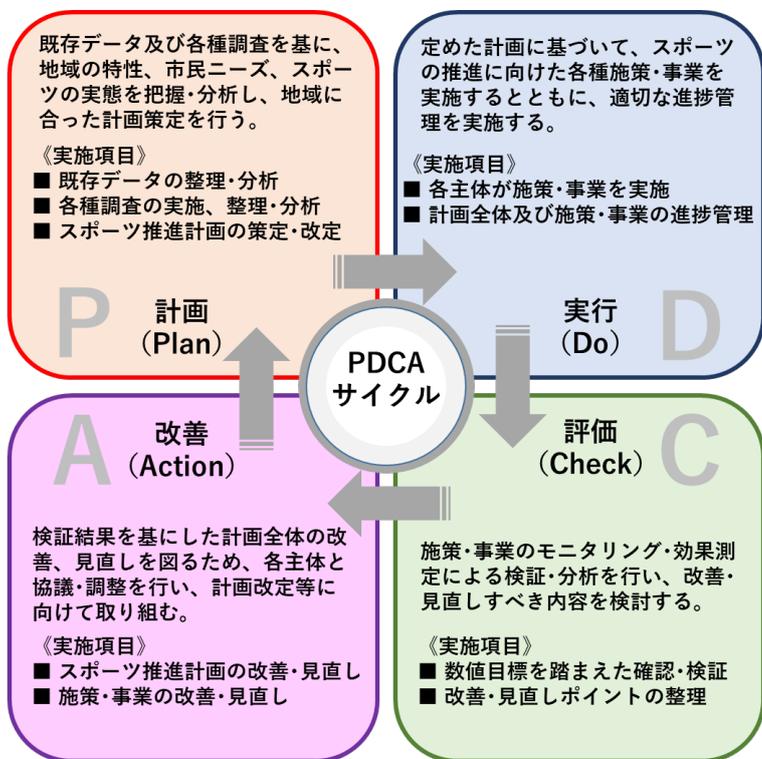
(4) 民間企業・大学等との連携

民間企業や大学等の施設や人材などを活用するなど、民間企業や大学等とも連携を図り、協働して、本計画を推進します。また、市のスポーツ施設の指定管理者とも連携を図り、民間のノウハウを本計画の推進に活かしていきます。

計画の評価

PDCA サイクル

市のスポーツ施策の推進には、各施策展開について実効性を確保するための進行管理を行う必要があります。各施策に関して、「計画 (Plan)」「実行 (Do)」「評価 (Check)」「改善 (Action)」のPDCAサイクルを繰り返し行うことで、取り組みの実効性を確保します。



問い合わせ先

岐阜市 ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課

〒500-8701 岐阜市司町40番地1

TEL : 058-214-2370 FAX : 058-214-2224 E-mail : sports@city.gifu.gifu.jp